



やすぎ 市議会だより

vol.
76
2023. 10

9月定例会議特集 ・令和4年度決算審査 他 委員会行政視察概要 やすぎ未来トーク開催

主な掲載内容

- ◆ 令和4年度決算審査……………P 2～P 3
- ◆ 本会議での審査結果……………P 4～P 5
- ◆ 委員会報告……………P 6～P 9
- ◆ 一般質問要旨、やすぎ未来トーク…P 9～P15
- ◆ 委員会行政視察概要……………P16

編集・発行：安来市議会広報広聴委員会
TEL：23-3125/FAX：23-3153

飯梨小学校児童による稲刈り風景 撮影者：三原哲郎議員

9月定例会議 令和4年度決算審査

9月定例会議に上程された令和4年度一般会計、特別会計および企業会計の歳入歳出決算（合計12議案）は予算決算委員会に付託され、さらに3つの分科会で慎重に審査を行いました。議決結果は12件とも認定です。定例会議最終日の本会議における予算決算委員長報告の要旨を掲載します。

予算決算委員会審査

■前期全体会（9月12日）

令和4年度決算審査に際し、代表監査委員の意見をお聞きし、委員からは数件の確認がありました。が、決算審査に影響する内容はありませんでした。

■地域振興分科会（9月13日）

地籍調査事業

質問 地籍調査の優先順位は。

答弁 国が示す地籍調査の優先順位は、まず都市部の人口集中地区及び山村部の林地である。特にこれらの地籍調査の進捗が遅れているため、より早急な調査の実施が必要とされている。次に公共事業

と連携した地域である。安来市はこの方針のもと、年間平均進捗率0.3%ではあるが、旧安来市では荒



島や赤江等の宅地部分を広瀬・伯太は山林部分を進めている。

水道事業

質問 電気やガス等、幅広い分野で値上げの動きが広がっているが、水道料金の値上げも考えているか。

答弁 独立採算制の原則とはいえ、市民生活に直結する部分でもあり、

採算が合わないから料金を上げるということではなくサービスの安定供給に向けて更なる事業経営の見直しや審議会での審議を経て総合的に判断したい。

■総務企画分科会（9月14日）

下宿高校生支援事業

質問 昨年、島根県にこの事業に対する補助を要望し、県からの補助ができたので今年は要望をしなかったのか、また、この県の補助額についてどう思うのか。

答弁 県立高校の寄宿舎の建設を要望したが適わず、それ以外の部分で、新たに県の方で制度化していただいたものである。できれば10分の10といった高い割合での補助を求めているが結果的には食事

支援の2分の1の補助となった。全体的にはもう少し補助があってもよいのではと思うが、新たな制度を作っていただいたということで、一定の考慮をしていただけたと思っている。

土地開発基金

質問 現金保有分が4億円以上あるが、残高の目安はあるのか。

答弁 条例では、現金は1億円と定められている。土地を先行取得する計画があれば、4億円まで保有しておく必要はないのではないかと考えている。基金については、今後の財政計画を策定する中で、土地開発基金だけでなく、全体の基金の額が適正かどうか、目的を達成したかどうかも含めて、整理する必要があると考える。

■文教福祉分科会（9月15日）

がん対策事業

質問 受診率を向上させるための啓発事業をすることで、受診率は向上したのか伺う。

答弁 受診率は横ばいでなかなか向上していない。



質問 横ばいであるということであれば、別の対策が必要でないか。

答弁 今年度は、大腸がん検診の未受診者への受診勧奨通知を行うなど、新たな対策もしている。

学校プール代替事業

質問 プールが老朽化した場合、修繕を行うのか、安来市民プール等を利用するのか、今後のプールの考え方について伺う。

答弁 児童数により判断を行っており、送迎可能規模の学校であれ

ば、安来市民プール等へ移行していき、一定規模以上であれば、当面は修繕し自校方式にて行う方針である。

質問 能義小、飯梨小、布部小、山佐小、比田小については、今後

も安来市民プール等を利用するのか伺う。

答弁 ひとつのプールを新設または維持していくためには経費がかかるため、様々な角度から検討しているが、現状としては、受入施設があれば、可能な限り受け入れをお願いをする考えである。

■後期全体会（9月21日）

採決

認第5号、認第7号、認第8号、認第9号、認第10号、認第12号の6件は全会一致での認定すべきものと決しました。

認第1号、認第2号、認第3号、認第4号、認第6号、認第11号の6件は賛成多数で認定すべきものと決しました。

※本会議での採決結果の詳細は4～5ページをご覧ください。

予算決算委員会 指摘事項並びに審査意見

1. 財政運営

財政状況は着実に改善しつつあり、財政健全化は今後も進めていかなければならないが、市民サービスの維持・向上と市民の活力を生み出すための市民ニーズに合致した事業の展開、そして人口減少対策や少子高齢化対策などへの有効な事業も推進しつつ、将来に向け持続可能な財政基盤の構築に努めていただきたい。

2. 市有財産の管理

公共施設等総合管理計画において、計画最終年度である令和28年度の削減目標面積25%に向けて、令和3年度に設置された「安来市公共施設活用推進会議」による議論を中心に、より一層、計画目標の達成に向けて施設総量の削減、適正化を図りたい。

3. 収入未済額

健全な財政運営には、自主財源である税収の確保と、税負担の公平性の確保が不可欠であるが、コロナ禍に加え物価高騰という厳しい状況の最中で収納率・収入未済額が前年と同程度であった点は評価できる。引き続き市税、国保税の滞納が減少するよう努められたい。

4. 病院事業について

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況にあった中で、昨年に引き続き経常利益が黒字となったことは経営健全化に努められた結果であり評価できる。しかし、今後の医師・医療従事者の確保や光熱費の高騰、施設・設備の老朽化など課題は山積していることから、引き続き病院経営の強化に向けて努められたい。

第101回安来市議会定例会7月緊急会議（令和5年7月10日）

7月緊急会議では市内経済を取り巻く環境に厳しさが増しているなか、家計や事業所の負担を軽減し、市民の暮らしを守る施策を含む補正予算案1件の審議を行い、可決いたしました。また陳情1件についても審議を行い、採択と決しました。

■全会一致で可決、同意した議案

提出者	番 号	件 名	付託
市長	議第97号	令和5年度安来市一般会計補正予算（第3号）	予

■請願・陳情審議結果

番 号	件 名	付託委員会	委員会結果	本会議結果
陳情第4号	陳情書（仮称）日向山、大出日山風力発電事業について	文教福祉	採 択	採 択

第101回安来市議会定例会8月緊急会議（令和5年8月4日）

8月緊急会議では高規格救急自動車1台を購入する財産の取得案1件、やすぎ月の輪まつりを盛り上げるためイベントや花火大会等の事業運営費の確保を目的として、ふるさと納税のガバメントクラウドファンディングを行い、寄附金額が確定したことによる補正予算案1件の合計2件の審議を行い、可決いたしました。また陳情1件についても審議を行い不採択と決しました。

■全会一致で可決、同意した議案

提出者	番 号	件 名	付託
市長	議第98号	財産の取得について	予

提出者	番 号	件 名	付託
市長	議第99号	令和5年度安来市一般会計補正予算（第4号）	予

■請願・陳情審議結果

番 号	件 名	付託委員会	委員会結果	本会議結果
陳情第2号	陳情（要望）書 宇賀荘川東地区デマンド輸送実証実験後の観光ループバス現状復帰 および実証実験後の広瀬－米子線（清水経由）現状復帰について	総務企画	不採択	不採択

第101回安来市議会定例会9月定例会議（令和5年9月1日～25日）

9月緊急会議では条例案7件、市道路線案3件、補正予算案8件、財産の取得案1件、諮問案1件の審議を行い全て可決しました。また令和4年度決算に係る認定案件12件を審議し、反対討論が行われましたが、すべて認定しました。決算審査についてはp2～p3をご覧ください。

■賛否の分かれた議案

賛成…○、反対…×、欠席…欠、除斥…斥、退席…退、棄権…棄
予…予算決算委員会、総…総務企画委員会、地…地域振興委員会、文…文教福祉委員会

提出者	番 号	件 名	付託	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
				議決結果	内田卓実	湯浅正志	三原哲郎	清水保生	福井加代子	岡本早智雄	原瀬清正	飯橋由久	岩崎勉	三島静夫	向田聡	澤田秀夫	佐々木厚子	作野幸憲	石倉刻夷	足立喜信	葉田茂美	永田巳好
市長	認第1号	令和4年度安来市一般会計決算の認定について	予	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	
	認第2号	令和4年度安来市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	予	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
	認第3号	令和4年度安来市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	予	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
	認第4号	令和4年度安来市介護保険事業特別会計決算の認定について	予	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
	認第6号	令和4年度安来市生活排水処理事業特別会計決算の認定について	予	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
	認第11号	令和4年度安来市下水道事業会計決算の認定について	予	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		

※議員定数18人 議長は採決に加わらない

■全会一致で可決、認定等した議案

提出者	番 号	件 名	付託	提出者	番 号	件 名	付託
市長	議第100号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	総	市長	議第113号	令和5年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	予
	議第101号	安来市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	地		議第114号	令和5年度安来市電気事業特別会計補正予算（第1号）	予
	議第102号	安来市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	文		議第115号	令和5年度安来市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	予
	議第103号	安来市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	文		議第116号	令和5年度安来市水道事業会計補正予算（第1号）	予
	議第104号	安来市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	文		議第117号	令和5年度安来市下水道事業会計補正予算（第1号）	予
	議第105号	安来市公園条例の一部を改正する条例制定について	地		議第118号	財産の取得について	
	議第106号	安来市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	総		認第5号	令和4年度安来市電気事業特別会計決算の認定について	予
	議第107号	市道路線の廃止について	地		認第7号	令和4年度母里財産区特別会計決算の認定について	予
	議第108号	市道路線の認定について	地		認第8号	令和4年度井尻財産区特別会計決算の認定について	予
	議第109号	市道路線の変更について	地		認第9号	令和4年度赤屋財産区特別会計決算の認定について	予
	議第110号	令和5年度安来市一般会計補正予算（第5号）	予		認第10号	令和4年度安来市水道事業会計決算の認定について	予
	議第111号	令和5年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予		認第12号	令和4年度安来市病院事業会計決算の認定について	予
	議第112号	令和5年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	予		諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	

■報告事項

提出者	番 号	件 名	提出者	番 号	件 名
市長	報第7号	令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	市長	報第11号	一般財団法人安来ふるさと公社の経営状況説明書について
	報第8号	安来市土地開発公社の経営状況説明書について		報第12号	有限会社やすぎ千軒の経営状況説明書について
	報第9号	公益財団法人加納美術振興財団の経営状況説明書について		報第13号	議会の委任による専決処分の報告について
	報第10号	一般財団法人夢ランドしらさぎ振興事業団の経営状況説明書について		報第14号	議会の委任による専決処分の報告について

全員協議会（令和5年9月25日）議案等の審議結果

■賛否の分かれた案件

提出者	番 号	件 名	議席番号	賛成…○、反対…×、欠席…欠、除斥…斥、退席…退、棄権…棄															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
市長		島根原子力発電所1号機廃止措置計画（第2段階）に係る市の対応について	結果	内田 卓実	湯浅 正志	三原 哲郎	清水 保生	福井 加代子	岡本 早智雄	原 瀨 清正	飯 橋 由久	岩 崎 勉	三 島 静夫	向 田 聡	澤 田 秀夫	佐々木 厚子	作 野 幸憲	石 倉 刻夷	足 立 喜信
			了 承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※議員定数18人 議長は採決に加わらない

常任委員会審査報告（要旨）

〈7月緊急会議〉

文教福祉委員会

■陳情第4号
（仮称）日向山、大出日山風力発電事業についての陳情書

【概要】

地域のくらしと共生できる形での事業実現は難しいと考えられるため、市議会として反対意思を示すことを求める。

【主な審査経過】

意見 国の再生可能エネルギーについての考え方はもちろん賛同するものであり、風力発電そのものについては反対するものではない。しかしながら、この日向山または大出日山風力発電については、生態系の破壊、土砂災害、水質と水量、健康被害、それぞれについて多くの不安要素があり、地元に住む陳情提出者の皆さんが大変懸念をされていることがよくわかった。

意見 実際現地を確認すると、工事の場所や作業道になりそうな予定地周辺の山肌は真砂土で急傾斜であった。土砂災害の発生確率が高まるの

ではと感じた。そして今後の生活に必要な水、農業に必要な水、そういった水の確保にも影響をおよぼす確率が高いと感じた。

意見 事業者の言う安全性については、客観的にみて不透明なところがあると感じられ、地元住民の皆さん方が思っておられるようなことが、将来的に起こる可能性がある。

意見 今の段階では具体的な計画が発表されておらず、今後調査がされてから具体案が出てくるようになる。



現段階では様々な諸問題に対して確証が得られず、本当にそのような被害等が発生するのか疑問が残る。

意見 現時点では趣旨採択が妥当である。

予算決算委員会

■議第97号

令和5年度安来市一般会計補正予算（第3号）

やすぎ家計応援商品券事業

【概要】

原油・物価高騰の影響を受けている家計の負担を軽減するため、登録事業者において利用できる商品券を第3弾として市民に一律配布し、市民の生活支援と市内経済の活性化を同時に図るもの。

【主な審査経過】

質問 財源内訳のうち、国庫支出金の算出根拠を知りたい。

答弁 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による各事業のうち、対象事業者が現時点で、ある程度確定できているものについては、事業費に対して交付金を全額充当し、そうでない事業については、一部、一般財源を充当している。本事業については、他の事業に交付金を充当したのち、その残額を財源としている。

【質問】

今回の交付金は1億4,480万4千円だが、これがすべてか、また、今後もこの交付金はあるのか。

答弁 今回の交付金額が、すべてである。今後については、国で、経済対策や物価高騰対策の財源として検討され、示されれば、そういった事業を計画していきたい。一方で、国の審議会の中でも臨時交付金については、あり方を整理すべきだという意見があり、今後はどのような形で実施されるのか、なくなるかは、現時点でわからないが、国の議論の状況を見極めていきたい。

〈8月緊急会議〉

総務企画委員会

■陳情第2号

宇賀荘川東地区デマンド輸送実証実験後の観光ループバス現状復帰および実証実験後の広瀬・米子線（清水経由）現状復帰について

【概要】

観光、暮らしやすい地区住民の生活を考慮し、実証実験後の表記バス路線の復帰を求める。

【主な審査経過】

（3月22日）

執行部よりデマンド輸送事業実証実験の実施にあたり行った宇賀荘地

区全15自治会及び清水観光協会への説明状況や、その場で出た意見・要望などへの対応の説明を受けました。

質問 宇賀荘地区全15自治会でそれぞれ説明されているが、全体会のようなもので意見を集約するといったことができなかったのか。

答弁 全体会を実施していない。実証実験をするにあたって観光ループと一部清水を経由するバスを一旦休止とするため、まず清水観光協会へ説明を行い、その後、各自治会への説明を行った。

質問 実証実験により効果や課題が見えてくると思うが、仮にデマンドも維持しながらイエローバスも元のような形で、平行して扱うことも考えられるのか。

答弁 はっきりしたことは言えないが、本数を少なくすると、時間帯を考える、新しい別のルートを作るなど、色々な検討はできるが、今まで通りのイエローバスにデマンドタクシーを追加すると費用がそれだけかかる。この実証実験自体が、今後の市への財政負担をより少なくするよう効率的な方法を模索するために行うものであり、総合的にそのあたりは合わせて考えていきたい。

(6月12日)

実際に休止されている観光ループ線のルートを現地視察し、2ヶ月間の運行状況の確認を行いました。執行部より、6月30日を締め切りに宇賀荘地区の全住民を対象にアンケートを実施しているとの報告を受けました。この時点では、委員よりアンケート結果を見た上で審査したほうがよいとの意見が大勢を占めたため、再度継続審査と致しました。

(7月28日)

執行部より4月から6月までの実証実験の実績、宇賀荘地区に実施したアンケート結果及び陳情書提出後、清水観光協会、清水町自治会との協議状況について説明を受けました。

質問 この実証実験は、利用者の方からは好評を得ているとのことだが、他の地区へ広げていくことは今考えているのか。

答弁 タクシー事業者と協議をする中、運転手の減少や、一般の利用者がコロナ以前の状況に戻りつつあり、一度に広げると対応できるかわからないとの意見がある。エリアは広げたいが、タクシー事業者との共存を前提とすることになる。

質問 実証実験により出された要望への対応は、10月からになるのか、随時見直すのか。

答弁 要望の多かった広瀬方面への連結は10月からと考えている。そのほか変えていける所は随時行っていく。

意見 陳情は、現状復帰とあり採択とまではいかないが、地域住民と観光客の利便性をよくしてほしいとい

う趣旨は理解できる。執行部も現状復帰という形ではないが、その利便性をより高めていく方法を検討している。

意見 地域住民の気持ちは理解できないが、現状復帰では問題解決にならない。執行部も問題解決に向けて努力している。今後の本市の交通事業のため、この事業は必要と考える。

＜9月定例会議＞

地域振興委員会

■議第101号

安来市特別会計条例の一部を改正する条例制定について

【概要】

安来市生活排水処理事業特別会計に属する事業を、安来市下水道事業会計に編入するための改正を行うもの。

【主な審査経過】

質問 安来市生活排水処理事業特別会計について、令和6年4月より公営企業会計に移行し、安来市特別会計条例で定める特別会計から除くとのことだが、改正前と改正後で実際に利用される使用者に何か変更はあるか。

答弁 使用者に変更はない。

質問 集落排水及び合併浄化槽等の事業についても、総務省は遅くとも

令和6年度の予算・決算が、公営企業会計に基づくものに移行すること求めているが事務負担等はどうか。

答弁 事務処理は大きく変わらない。現在の一般会計、特別会計、下水道事業会計の3会計から2会計に減るため、むしろ業務の負担軽減に繋がる。

■議第105号

安来市公園条例の一部を改正する条例制定について

【概要】

市営大塚団地の建設に伴い、現在の大塚公園の敷地部分が事業範囲となるため、大塚公園の廃止を行うもの。

【主な審査経過】

質問 大塚公園の廃止は、住民の理解を得ているか。廃止する公園と代替の公園は、遊具等機能的に相違があるのか。

答弁 住民の方々には、ご理解いただいている。大塚公園には遊具として鉄棒とブランコがあるが利用は少なく、近隣の認定こども園に遊具が設置されていることや交流センターに多目的広場があることから新たな遊具は必要ないと考える。

総務企画委員会

■議第100号

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

【概要】

地方自治法の一部を改正する法律により、引用している条文が繰り下げられたため、条文の改正を行うもの。

【主な審査経過】

質問 地方自治法の一部改正に伴う関係条例の条ずれに対応することとだが、「安来市病院事業の設置等に関する条例の一部改正」には、法律番号の追加があるが、これは何か。
答弁 この度の条例改正への対応の際、法律番号の記載がないことが判明したため、追加した。

■議第106号

安来市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

【概要】

根拠法令の一部改正に伴い、急速充電設備の定義の見直し、充電ポストの取扱いの改正等を行うもの。

【主な審査経過】

質問 安来市の急速充電設備の設置状況はどうか。

答弁 条例で規制される急速充電設備は20キロワット以上のものであり、

安来市内では、道の駅あらエッサ及び民間自動車会社の2箇所である。

質問 公布の日から施行した場合、今回の急速充電設備の改正部分の対応はどうなるのか。

答弁 急速充電設備の規定については、令和5年10月1日からの適用となる。また附則の経過措置により、すでに設置してあるもの、もしくは設置の工事を行っているものについては、今まで通りとなる。

質問 喫煙所の標識について、図記号と文字は一緒に記載されるものなのか。

答弁 文字による標識は必要で、図記号を併せて使用する際、その図記号はISO又はJISに適合しなければならぬ。法令上、文字のみでもよいと考えるが、わかりやすくするために図記号を併せて使用する場が多いと認識している。

文教福祉委員会

■議第104号

安来市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

【概要】

「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」の基準等は厚生労働省通知に準拠していたが、こども家庭庁

において新たに事業実施要綱が発出し直されたため、所要の改正を行うもの。

【主な審査経過】

質問 放課後児童支援員とみなす研修修了期限が無期限化されたということだが、条例にはどうして当分という記載があったのか。

答弁 国からの準則に従って改正したものである。今回は附則の改正であり、今後見直しをされる可能性も含め、このような改正になったと推察する。

予算決算委員会

■議第110号

令和5年度安来市一般会計補正予算（第5号）

道路環境整備事業

【概要】

原子力発電施設等立地地域基盤支援事業交付金を活用し、原代宮内線の舗装修繕工事を行うため、工事請負費を増額するもの。

【主な審査経過】

質問 原代宮内線について、財源である交付金は、要望して内示を受けたものなのか、金額の内示を受けて実施箇所を選定したのか。

答弁 要望し、内示があったのち、年次計画の中で実施箇所を選定して

いる。
質問 来年度以降において、事業費の枠などはなく、要望して内示を受ければ実施できるという理解でよいのか。

答弁 この交付金は、令和5年度から令和7年度の3年間に限られており、総額で5千万円となっている。それに基づいて3年間の実施計画を提出している。実施箇所についても明記しているので、来年度は、当初予算に計上していきたい。

一般市道改良事業

【概要】

加茂1号線について、開発事業の進捗により、造成計画に沿った接道部分の市道改良工事を進める必要が生じたため、工事請負費を増額するもの。

【主な審査経過】

質問 久之谷線道路改良事業費に補正額の記載がないが、予算はどのようになっているのか。この財源が、加茂1号線道路改良事業になったのか。

答弁 久之谷線道路改良事業費の表記は、委託費を増額し、相当額の補償費を減額したためによるもので、事業費総額に変更はない。加茂1号線道路改良事業は新たに財源を確保し行うものである。

※決算審査については、2ページから3ページをご覧ください。

島根原子力発電対策調査 特別委員会委員長報告(要旨)

本委員会は令和3年11月の開会会議において、6名の委員と議長を含めた7名で構成され、2年近くの期間が経過し、調査事項についても一定の整理を行いました。

これまでの議論、調査を踏まえ、安来市執行部に次の事項に努めて頂きたい。

1. 原子力発電を支える周辺地域や自治体が地域住民に対する啓発活動として行う原子力防災や地域振興対策への取り組みに対する財政支援の拡充及び、周辺自治体の意見等をしっかりと反映する制度を構築すること、島根県から最終責任者である国に強く求めるよう要請すること。
2. 中国電力株式会社に対し、これまで発生した不適切事案への反省等

も踏まえ、平常時の運転、施設設備の維持・管理を適切に行い、放射性廃棄物処理の際の安全性の確保に努めるとともに、緊急時の対応に万全を期すため、要員の十分な確保と教育等による技量の維持・向上を図るよう強く要請すること。

安来市においても、次の取り組みを着実に実行されることを求める。

1. 市民に対して地域防災計画・住民避難計画の更なる周知徹底を図るとともに、広域避難、要支援者対策など様々な事案に対する原子力防災訓練等を行い、避難計画の不断の改善に取り組むこと。
2. 中国電力株式会社・県・国のみならず、令和5年3月に策定された「安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン」に基づき、市においても具体的且つ適切な再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組むこと。

令和5年度島根県市議会議長会 議員研修会16名が参加

日にち…令和5年7月11日(火)
場 所…島根県立男女共同参画センター
あすてらす(大田市)

〈研修〉

中山間地域の現状と今後の方策

～地域コミュニティのあり方を中心に～

講師…島根大学教育学部 教授 作野 広和氏
内容…人口減が進む中山間地域における地域作りのあり方について学んだ。

「むらおさめ」という言葉で定義された、集落の文化や行事などのアーカイブ化、集落にある資源の目録化などの取組が提案されていることを学んだ。



9月定例会議

一般質問要旨



政進クラブ
飯橋 由久

公共交通による

移動手段について

質問 「宇賀荘地区デマンド交通実証実験」について今後、本格導入に向けて、地域住民の利便性、観光業の立場からの満足度が決める手となってくるのではないかと考えるが見解を伺う。

答弁 宇賀荘地区における実証実験での利用状況やアンケート調査から、デマンド交通は、利便性や柔軟性に優れた交通手段であり、高齢者をはじめとする利用者のニーズに対応したサービスを的確に提供するため必要であると考えている。

一方で、予約方法などの課題や、乗り合いを前提とした運行などの特性もあることから、地域の状況を見極めて導入する必要がある。また、運行を委託するタクシー事業者の運転手不足などの課題もあり、今後は、利用状況や観光客ニーズなども踏まえ、他の業種の皆

様とも協議し、持続可能な公共交通の実現に向けて検討するとともに、他の地域への事業展開についての参考として参りたいと考えている。

中山間地域での 買い物支援サービスについて

質問 小売店等の減少が続く中、民間の移動販売だけでは対応は難しい。ケーブルテレビを利用した買い物支援サービスについて検討・導入への考え、可能性について伺う。

答弁 安来市において、中山間地域における買い物支援としては、移動販売車による買物支援や、各地域での移送支援など、住民が主体となった地域づくりとしての取り組みを推進している。支援の仕様に際しても、各地域の実情に応じた形で構築されている。

ケーブルテレビを活用した買い物支援サービスのシステムを構築することは技術的には可能であるが、売り手、買い手、物流の連携・構築が必要となる。今後、各方面からニーズが高まり、それぞれにメリットがあれば、システム構築について研究していく必要性はあると考えている。

9月定例会議

一般質問要旨

市民クラブ
岡本 早智雄

計画中の風力発電事業について

質問 現在、市内南部の2カ所に民間事業者による大規模風力発電事業が計画されている。そういった中、安来市としてこの事業に反対の意思を示された。本事業は今後どのような動きになるのか伺う。

答弁 今後、現地調査等が実施されれば、結果に基づいて風車の数、位置が決定されるものと考えている。この場合、令和7年頃に知事に対して意見が求められる。そして令和8年頃には手続きが終了し、事業実施について、事業者が最終的な判断を行うのではないかと考えている。

質問 今後も、市が事業を反対するとして、その取組みについて伺う。

答弁 令和7年頃に県知事から市長意見を求められることが最後の場となる。その意見でも反対の立場を示し、事業の中止を求めている。ま

た今後、他の関係法令に関する意見を求められる場合でも、反対意見を述べることになる。

質問 田中市長に、この風力発電事業を反対されたことに関する理由を伺う。

答弁 前提として、再生可能エネルギーの推進については反対ではない。市でも行動計画を策定しており、CO₂削減は喫緊の課題であることを十分理解した上で、大規模風力発電施設整備について反対している。

源流である山林の水源涵養機能によつて蓄えられた水が、河川を経て、恩恵を受けているのが飲料水や農業用水であるが、だんだんと下流に向けてその恩恵を実感できないのが山林の大切さである。山林を大切にしなければ様々な面で下流にも影響がある。崩れやすい中国地方の真砂土なので、山林での大開発は避けなければいけない。

まずは現実問題として、水不足とか、将来に起きてはならない土砂崩れ等の災害、我々が恩恵を受ける多くの森林がもつ多面的機能をきちんと確保して、未来に繋げることが、今我々の責務だと思っており、事業への反対の意見を申し述べ、そのことを県に申し上げた。

誠和クラブ
石倉 刻夷

スマートインターチェンジの設置について

質問 県知事要望等設置に向けた状況について伺う。

答弁 インターチェンジの必要性や周辺道路の整備方針など「計画検討」が必要である。都市計画マスタープランの見直し、将来市街地の面積は約60ヘクタール程度となり、将来市街地検討地の面積は約100ヘクタール程度となる。建設実現には、民間事業者等と一体となった活動が必要で、先般、安来市商工会議所、観光協会等、市内の8団体が期成同盟会を設立し、官民一体となって、建設促進活動を進めていく考えである。

公園管理について

質問 市が所有する公園の管理状況と管理費および公園内の説明版等、点検の方針を伺う。

答弁 安来公園、安来運動公園等

6施設、住宅団地内での緑地公園20施設、中海ふれあい公園、十神山なぎさ公園等16施設、合計42の施設がある。管理費は、緑地の草刈、遊具の修繕、委託料で約2千600万円、他に清水月山県立自然公園、史跡公園としては、史跡富田城跡、古代出雲王陵の丘仲仙寺公園等があり、委託により合わせて約660万円余である。施設点検は、通常点検パトロールと合わせ、年1回の専門業者による点検を実施し、計画的に改修等を行っている。説明板の内容更新等については、施設確認を実施して、現状に沿った内容への更新を検討していきたい。

畜産振興について

質問 畜産振興の中で、肥育セクターの存続に関する検討状況を伺う。

答弁 市としては、旧1市2町の支援で建設された施設で、耐用年数も令和23年度まで残されていることから、当初の目的に従い、JAしまねやすぎ地区本部に対して、センターが果たしている機能と便益を引き続き維持されるよう求めている。関係者による検討会が開催されているので最良の策が見いだせるよう協議を進めたい。

放課後児童クラブについて

市民クラブ
原瀬 清正

質問 放課後児童クラブは民設民営2施設と公設民営14施設が開設されているが、今年度の受入れ状況を伺う。

答弁 令和5年4月1日現在で希望者数は538名、受入れ人数は523名であった。希望のクラブが定員を満たしたケースがあり、15名の児童が待機となっている。

質問 学校長期休業時の利用者数について伺う。

答弁 放課後児童クラブは、共働き世帯など家庭に大人が不在の子供たちを預かる施設であるため、1年を通じて預け入れを希望する家庭を優先としている。各クラブには定員があり、通年利用のご家庭を含めても、なお余裕がある場合に長期休業時の利用を希望する児童を預かる。長期休業時に利用される児童数は、通年利用の474名と長期休業時のみ利用の49名で計523名である。

質問 学校長期休業時の受入れ児童の昼食について、公設民営の状況を伺う。

答弁 原則、お弁当の持参としている。持参できない児童は自己負担で外部からの調達による対応としているクラブもある。

質問 昼食について利用されている保護者のニーズ把握と、学校長期休業時の昼食提供について給食センターの活用や事業者の児童向け弁当の注文など、今後の考え方を伺う。

答弁 昼食の保護者ニーズの把握は、クラブに聞き取り調査を行い、要望ありと回答のクラブが一部あったが、要望なしとの回答が大半であった。給食センターの活用について、学校の長期休業中は、給食センターのメンテナンスを行う期間であるため、活用できる期間は限定的である。学校給食の提供の際は、食物アレルギーの調査や献立作成は学校栄養教諭を中心に行っている。また、学校給食は学校での配膳が前提であり、それらに代わる人材の確保や調理、配送の構築が必要になることから、給食センターを活用した昼食の提供は困難と考える。今後については、必要に応じて各クラブと相談しながら、外部調達での対応をしていきたいと考える。

交流センターを核とした地域づくりについて

市民クラブ
清水 心保

質問 現行の運営協議会を部会制へ移行することについては、地域の実状を考慮する必要があると思う。状況に応じて、交流センター職員の増員や処遇の見直しなども検討する考えがあるのか伺う。

答弁 報告書では、住民が主体となつて活動できる仕組みづくりのひとつとして部会制を挙げているが、運営協議会の部会制への移行は必須ではなく、各地域の実情や目的に応じた活動しやすい仕組みや体制づくりが重要と考える。交流センターは住民が集まる場として活動に対する調整役などを担うことが期待されるが、市職員も伴走的に支援するので、現時点では現状の職員体制で対応できるものと考えている。

質問 報告書にある地域づくり活動への職員の積極的な参加、若手職員が地域に出る機会を増やすことに

ついて、このことをどのように職員に周知していくのか伺う。

答弁 地域づくり活動に市職員が参加し地域に深く関わることで、地域の課題や問題を自分事として捉え、これまで気づかなかった地域の状況などを知ることが出来る。特に若手職員は、職場と異なる人と関わることで考え方に幅が生まれる。庁議などを通じて全職員への周知をしているが、地域の住民としての積極的な参加を促していく。

質問 小学校の再編に直面する状況において、学校が無くなった途端に地域が寂れたということの無いよう、学校と地域の連携をこれまで以上に大切にしたいと思うが、小学校と地域の関わり方について、現在、そして今後についてどうあるべきと考えているのか伺う。

答弁 これまでもふるさと教育や学校支援の場を通して、地域と学校は強い関わりを持ってきた。今後、小学校の適正配置により校区が広がったとしても、これまでの関係を踏まえつつ持続可能な仕組みづくりが必要である。これから学校に配置する学校運営協議会でも、地域とともにある学校づくりを進め、学校だけでなく地域総がかりで子どもを育てたい。

9月定例会議

一般質問要旨



公明党
佐々木 厚子

マイナンバーカードについて

質問

マイナンバーカードはデジタル社会において必要不可欠であると思うが「マイナ保険証」に別人の情報登録されたり、年金記録とのひも付けミス等のトラブルが続出し市民が不安に思っている。そのトラブルの原因、安来市の現状、今後の再発防止対策等伺う。

答弁

全国的なトラブルの原因はシステムエラーや人為的ミスであり、防ぐことは可能であったと考えられる。各種制度とのひも付け誤りについては、政府として「マイナンバー情報総点検本部」を設置して対応している。安来市の状況としては、各種のトラブルは発生しておらず、総点検の対象となる事務もなかった。今後定められたルールやガイドラインに従い事務を実施し、併せて職員研修も継続していく。

带状疱疹ワクチン接種について

質問

50歳代から80歳までに3人に1人が発症するといわれている带状疱疹の罹患者が増えている。带状疱疹は予防接種で効果があるといわれている。しかし、一回の接種費用が高額なためぜひとも接種費用の助成をお願いしたいと思うが、考えを伺う。

答弁

現在予防接種費用の助成は考えていないが、今後も国の定期接種化に向けた取り組みに注視していく。

超少子社会に向けての対応について

質問

現在日本は、高齢人口より独身人口の方が多い「超独身国家」といえる状況である。結婚をすることの選択は尊重されるべきだが、結婚したくてもできない人への支援は必要であると考える。出生率の低下や、人口減少に歯止めをかける意味でも、結婚を希望する人たちへの支援は大事であると思うが、考えを伺う。

答弁

昨今の若い方の出会いは、婚活サイトやマッチングアプリが主流になっている。市としても、婚活サイト等を運営する民間事業者との連携も視野に入れ、時代に合った婚活支援を検討していく。



政進クラブ
岩崎 勉

鳥取県西部のごみ処理施設整備計画について

質問

米子市新山・陰田町で最終処分場の建設が計画され、島田地区内の吉佐町においても、住民説明会が開催された。最終処分場とは、どのような役割の施設で、どのような廃棄物が搬入されるのか。

答弁

今回計画される最終処分場の概要等は今後決定されるため、現時点では、どのような廃棄物が搬入されるのか決定していない。参考までに、安来市の最終処分場に搬入している廃棄物は、各家庭から分別収集される埋立てごみ、中間処理施設でリサイクルした後のガラスくずなどの処理残渣を埋め立て処理している。また、現在は搬入していないが、一般廃棄物の焼却灰も処理対象である。

質問

今回計画されている最終処分場で、降雨や散水で廃棄物に触れる。

た水、いわゆる浸出水の対策はどのように施されるのか。

答弁

側面や底盤部を遮水シート、不織布等により遮断し、廃棄物に触れた水の地下水への影響を防ぐと聞いている。

また、地下水の水質への影響を判断するために観測井戸を設置し、地下水のモニタリングを実施すると聞いている。

質問

本市に対しては、鳥取県西部広域行政管理組合または米子市等から、事前協議、あるいは事前説明等があったのか。

答弁

令和5年4月5日に鳥取県西部広域行政管理組合の副管理者である米子市副市長が来庁され、新しい一般廃棄物処理施設の建設候補地の選定経過や地元対応についての説明がなされた。安来市長から管理組合に対し、事業の実施にあたっては、関係住民に十分な説明を行うよう依頼している。

質問

本市の今後の対応について伺う。

答弁

鳥取県西部広域行政管理組合に対しては、一般廃棄物最終処分場建設に関しての情報を随時、提供するよう依頼した。また、関係自治会である吉佐町自治会住民には、相談窓口として対応する考えである。



日本共産党
向田 聡

マイナ保険証・ マイナンバーカード問題について

質問 現在、子どもの医療費は自治体によってまちまちだが、マイナ保険証になった場合、カードだけできちんと対応できるようになっているのか伺う。

答弁 子ども医療証や福祉医療証についてはマイナンバーカードとのひもづけを行っていないので、これまでどおり紙の医療証での運用となっている。

質問 マイナ保険証に限らず、マイナンバーカードのトラブルが頻繁に起こっている。市民の不安解消のためにも、マイナンバーカードの運用を一旦停止し、国が責任を持って、完全・確実な総点検を、自治体丸投げでなく、徹底的にやるべきだと考えるが市長の見解を伺う。

答弁 11月末を目途に実施されている総点検については、ミスの要因や背景、また影響をくまなく洗い出

して、そして結果を丁寧に説明することが国民から求められている。再発防止に責任を持つ意味でも、国が主導しながらしっかりと取り組んでいくべきだというふうに考えている。

再生可能エネルギーの 地産地消について

質問 安来市の「再生可能エネルギーの地産地消ビジョン」には、2030年までに再生可能発電量を今の9.7%から16.5%に引き上げるとあるが、どういう計画があるのか伺う。

答弁 災害時に避難所となる交流センター等への太陽光パネル及び蓄電池設置や、市が所有する遊休地への太陽光パネル設置の検討を行う。市が設備を所有する手法だけでなく、第三者が所有する手法なども含め、様々な可能性を検討していく。また、安来市に合った再生エネルギーということで、地域が主体となり小さな河川や水路等を活用する地域マイクロ水力発電についても国の補助金などを活用しながら可能性を探っていく。これらの取組により目標値の達成を目指す考えである。

その他の質問事項

● 島根原発1号機廃止措置計画の見直しと2号機再稼働について



政進クラブ
三原 哲郎

福祉支援について

移動支援について

質問 松江市や出雲市のように、タクシードライバーを現物支給したほうが高齢者の方には分かりやすいと思うが見解を伺う。

答弁 本市の事業では現在の方法が適していると考えている。今後事業を進めていく中で、そういった声が上がるとあれば、検討していきたい。

情報保障について

質問 災害などの有事の際にFAXなどで知らせて欲しいとの意見もあるが、見解を伺う。

答弁 災害時の情報収集の手段として、「ヤフー防災速報」アプリをダウンロードし設定しておくことで、市が配信する防災緊急情報を受信できるので、活用いただきたい。

窓口での意思疎通支援について

質問 窓口対応でコミュニケーションボードが欲しいとの要望がある。音声変換器により、言葉をリアルタイムにモニターやタブレットへ表示

する機器を窓口を設置すべきだと考えるが見解を伺う。

答弁 モニターやタブレットへ表示するシステムは将来的には設置に向けて検討すべきと考える。手始めに、福祉窓口を対象としたコミュニケーションボードの作成に向けて進めていく。

質問 スマートフォンなどから通報用WEBサイトにアクセスし、「救急」と「火事」の別と、通報者の位置情報を入力すれば、即座に消防本部に通報が繋がるNET119は導入されているのか伺う。

答弁 FAXによる119番通報を運用していたが、新たに令和3年7月1日よりNET119緊急通報システムの運用を開始した。

スマートシティやすぎ キオスク端末について

質問 キオスク端末を、比田交流センターと赤屋交流センターに置けないかという意見もある。全ての交流センターに設置するのが理想ではないのか所見を伺う。

答弁 費用対効果の観点から交流センターへの導入は困難ではあるが、中山間地域対策としては、マルチタスク車両を活用した巡回サービスを予定している。

その他の質問

● モバイルクリニックについて 他

9月定例会議

一般質問要旨



政進クラブ
内田 卓実

ため池の防災・減災について

質問 ため池の防災、減災対策について伺う。

答弁 ため池特別措置法の施行を受け、島根県の推進計画に基づき、決壊時の影響度と施設の健全度から総合的に優先度を評価した上で順次改修工事などの対策を進めているところである。また、既に受益のなくなったため池について、ため池特別措置法の施行以前より堤体の開削等による廃止工事を実施し、決壊の危険を取り除く工事を行った例もある。

質問 ため池の健全性調査について伺う。

答弁 ため池の特別措置法の有効期間内に必要な防災工事に着手する必要から、廃止を除く全ての防災重点農業用ため池を対象に島根県による劣化状況や地震、豪雨への耐性評価が進められている。健全性の評価

は、島根県の「防災重点農業用ため池に係る防災工事推進計画」を基に県で実施されることから、残るため池についても引き続き調査、診断を進めていただくよう求めている。健全性の評価を行った後、決壊時の影響度と健全度から総合的に優先度を評価した上で順次対策を講じることとなるが、今年度より改修工事が始まった山辺の大堤もこの中に含まれている。ちなみに受益がなくなったことなどから廃止したため池は、防災重点農業用ため池以外も含め9か所あり、現在廃止工事を行っているため池が4か所ある。

質問 山辺大堤の改修工事について伺う。

答弁 山辺大堤は、耐震性及び豪雨時の排水能力が低いとの評価から災害に対して不安定な状況であり、地震や豪雨の際には堤体が決壊する可能性があるため、耐震化及び排水機能の向上を伴う改修が必要となったものである。施工方法としては、堤の堤体を全て撤去し、再び築堤を行い、取水施設である斜樋、そして底樋、洪水吐も改良する工事となる。本年度は測量設計業務が実施をされている。



政進クラブ
福井 加代子

高校魅力化について

質問 高校魅力化推進事業によって高校生がどんな風に変わってきたのか、今後の展開も含め伺う。

答弁 高校魅力化推進事業は高校と地域の協働により、安来でしか学べない特色ある教育の提供や、地域に開かれ、地域に必要とされる魅力ある高校を目指すものである。それによって「地域で高校生の姿を見ることが増えた」という声が多く、今後の展開として引き続き、地域との協働活動を推進し、高校生が在学中に様々な安来市の魅力を知る機会を提供する。

質問 昨年、県立大学サテライトキャンパスが安来に開設され、県内進学、就職の推進、地域課題の解決に繋がる活動が期待されるが現状を伺う。

答弁 安来懐古館一風亭に開設された「YASUGI未来アトリエ」では定期的に県立大生が訪れ、安来市と県立大をつなぐ重要な拠点となっ

ている。自分の未来と地域の未来を同時に考える新しい形の講座となっており、参加した高校生が実際に県立大に進学するなど地元定着や関係人口化に効果が出ている。

空き家対策、お試し住宅について

質問 来年4月から相続登記が義務化されるが、安来市の空き家対策にどのような効果があるのか伺う。

答弁 相続登記義務化により、建物や土地の所有者を把握することが容易となり所有者との対応が早くできる事、家庭の中でも早い段階で相談ができ、空き家の活用や解体などが計画的に行われていくことが期待できる。

質問 同じように移住の促進、関係人口の拡大を図ることを目的としたお試し住宅の利用状況、定住に至った例を伺う。

答弁 お試し住宅の制度を取り入れた平成28年度以降27組46名の利用実績があり、利用をきっかけに安来市への定住につながった数は6組11名である。安来節を縁にお試し住宅を利用され、定住につながった例もある。

その他の質問

● 安来節の振興について

市立図書館について

誠和クラブ
三島 静夫

質問 ひろせ図書室については複合施設の一角に入る改修計画があったが、現在の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。

答弁 ひろせ図書室の改修については、令和3年度に策定した「広瀬庁舎・広瀬中央交流センター整備基本構想」において、交流センター機能と図書室機能を備えた新たな複合施設として整備することとしている。この基本構想に基づき、令和4年度から整備基本計画の策定に向けた取り組みを進めている。基本計画は今年度中に策定し、その後、基本設計及び実施計画を進める。実施年度については、概算事業費を財政計画に盛り込んだうえで検討する。

地域交流センターについて

質問 地域を支える人材の育成・

確保についての具体的な見解を伺う。

答弁 地域づくりや活性化のためには、次世代を担う人材を見つけて出し、育てることが各地域に共通する課題となっている。地域には様々な得意分野を持った人材が存在し、そうした人材を発掘する方法の一つとして、地域イベントなどの開催がある。イベントに関わるにより、交流の輪を広げ、協力し合いながら活動すること、その後の地域づくりの新たな人材に結びつけることができると思う。また、イベントを一過性のものにするのではなく、ワークショップなどを活用して、具体的実践活動につなげることも重要である。

公共施設の雨漏りについて

質問 雨漏りが確認されている公共施設の数を知りたい。

答弁 安来市公共施設等総合管理計画令和4年3月改訂版上の本市における主要な公共建築物は、247施設で、そのうち現在、雨漏りが確認されていた公共施設の数27施設ある。全般的に建物の老朽化が進んでおり、雨漏りをする施設が増えてきている状況である。

やすぎ未来トーク

日時…令和5年7月5日(水)
場所…Ton-ton
わくわくFactory

参加者…7名(男性2名 女性5名)
参加議員…作野 幸憲・三島 静夫
三原 哲郎

「やらいや」のみなさんへ

中山間地(井尻地区)の将来についてをメインテーマに、「小学校・こども園について」「買い物支援について」「空き家について」「農業について」の4項目について、未来トークを行いました。

将来への不安や悩みがあること。地域に対しての思いや課題など、どうしたら地域をより良くすることができるとかという視点で、たくさんのお話を伺うことができました。参加者アンケートでは、「今回はいろんな意見が聞けて良かったです。そして、なるべくたくさんの人と話をしたい」との大切さも分かりました。どうやってたくさんの方の意見を聞くかを考えていければいいなあと思いました。「貴重な時間となり、とても充実していました。色々な話が来てよかったです。」「一人ひとりの思いが聞け、話す機会に参加出



来て良かったです。また、2回、3回と話せたらと思います。」「少人数でも、人それぞれの意見が違い、聞くことが出来て良かったです。」「話しやすい空気で、おもしろい話が聞けました。皆さんの話が聞けて勉強になりました。ありがとうございました。」など、沢山の意見をいただきました。

「時間がもつとあればいいな。」「また、このような機会を作りたいです。」「というご意見もあり、地域において、話をすることの重要性を改めて、感じていらつしやるのが印象的な未来トークとなりました。ご参加いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。」

令和5年度 行政視察報告

文教福祉委員会（7月18～20日）

◆武蔵野プレイス（東京都武蔵野市）
武蔵野プレイスについて

◆東京都三鷹市

コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育について

◆東京都清瀬市

ゴミのポイ捨て条例（清瀬市まちを美しくする条例）について



総務企画委員会（7月24～26日）

◆熊本県熊本市（地域振興委員会と合同視察）
半導体関連産業の集積に向けた産業用地整備方針について

◆佐賀県唐津市
七山の風力発電計画
中止の経過について



地域振興委員会（7月24～26日）

◆海水淡水化センター（まみずピア）
（福岡県福岡市）
海水淡水化施設の現状と今後の技術動向について

◆熊本県熊本市（総務企画委員会と合同視察）
半導体関連産業の集積に向けた産業用地整備方針について

◆熊本県庁

就農・就業の支援及び青年農業者等の育成支援について

◆福岡県八女市

竹・バイオマス事業について



島根原子力発電 対策調査特別委員会（8月7～9日）

◆鹿児島県原子力防災センター
（鹿児島県薩摩川内市）

鹿児島県原子力防災センターの改築による機能強化の内容及び、原子力防災アプリの開発経緯等について

◆長島風力発電所（鹿児島県出水郡長島町）

長島風力発電所の整備経緯およびエネルギーのベストミックスに関する九州電力管内における風力発電所の位置づけ等について

◆川内原子力発電所（鹿児島県薩摩川内市）
再稼働までの概要および、安全強化に向けた対策、防災訓練等の状況について



スマホアプリ「マチイロ」に
やすぎ市議会だより
配信中！



YouTubeで市議会配信



お慶び

多年にわたる議員活動により
左記の方が表彰されました。

◆全国市議会議長会より

議員活動二十年以上 葉田 茂美

◆中国市議会議長会より

議員活動二十年以上 葉田 茂美
議員活動十二年以上 作野 幸憲
（敬称略）



編集後記

漸くスポーツの秋、読書の秋、実りの秋など、様々なことに適した時期となった。話題としてはスポーツの秋、各スポーツ競技で開催されたW杯（ワールドカップ）やアジア大会ではなかっただろうか。日の丸を背負って戦う選手たちを老若男女問わず応援し、その応援を受けた選手たちが感動するスパープレーを生み出し、私たちに勇気と感動・活力を与えてくれた。また、その共通の話題で家族や友人たちと語り、コミュニケーションに役買ったことは間違いない。

議会だよりは広報部会現メンバーでの最後の号となった。今後も皆さんに話題性あるものとして届けられるよう、次の編集メンバーに引き継ぎたい。

広報広聴委員会
原瀬 清正